厳（いつ）のしらかし

《白橿中学校だより　第2号》

令和6年　4月26日発行

文責：校長　西村　拓司

ホームページ

新入生歓迎会＆部活動紹介

4月16日（火）に、新入生歓迎会が行われました。前半は生徒会が中心となり、学校生活と制服の紹介や専門部の紹介を行ってくれました。後半は、各部活動からの紹介でした。特に部活動では、2、3年生が素晴らしいパフォーマンスを見せてくれて、有意義な時間を過ごすことができました。1年生のわくわくした笑顔や希望に胸を膨らませている様子がとても印象に残っています。新1年生のみなさんは、自分のやりたい部活動を見つけ、学校生活の目標をたてて頑張ってください。新たな「白橿っ子」としてのスタート！！

進行役の生徒会執行部

◇女子バスケットボール部

◇吹奏楽部

◇男子バスケットボール部

◇弓道部

◇ソフトテニス部

◇バドミントン部

◇野球部

避難訓練を終えて

去る4月18日（木）に、火災を想定した全校避難訓練を実施しました。非常ベルが鳴り、アナウンスが入ってから、子どもたちは私語をすることもなく迅速に避難場所であるグラウンドに協力して避難することができました。話を聞く姿勢も大変良かったです。

さて、災害はいつも突然にやってきます。今年の元旦に起きた能登半島地震もそうですし、時や場所を選んでくれません。災害が訪れた時に慌てず落ち着いて対処できるための TPO の話をしました。

まず、T（Time）は時です。どの時間帯で起きるかで被害や備えも変わってきます。夜中に起きたときに、停電も想定して枕元やわかる場所に懐中電灯をおいておくのも大切な備えかと思います。

P（Place）は、場所です。今日の訓練は学校ですが、自宅、ビルの中、トンネルの中、海岸のそばなど場所によってその対応は変わってきます。火災の場合は、煙による一酸化炭素中毒で命を落とす方が多いですので、煙がどの方向に充満するかを瞬時に判断しなければなりません。地震が海岸のそばで発生した場合は、ニュースでもよく知られていますが、「つなみてんでんこ」の言葉通りそれぞれが津波に巻き込まれない高い場所に早急に避難しなければなりません。

O（Occasion）は、場合です。学校では、指示してくれる先生がいますが、自分一人しかいない場合、小さな子供やお年寄りが集まっている場合と、みなさん自身が判断したり、誘導や救助をしたりしなければならない場面もあります。今回の避難訓練をきっかけに知識と経験を糧として蓄え、守れる命を最大限守られるように、防災意識を高めていきましょう。

あたりまえの日常を、感謝の気持ちで過ごしたいと思います。

ホームページ『人生は一冊の問題集」のコーナー

本校のホームページに、校長コラム『人生は一冊の問題集』という新たなコンテンツを作りました。

このコラムでは、【子育て・人生に関するテーマ】を簡単な記事にしています。今、教育現場はソフト面、ハード面とも大きな変革期を迎えています。人生は自分自身の判断と選択の積み重ね、原因と結果の連鎖と捉え、少しでも悩みを解消し、保護者のみなさまと一緒に考えるきっかけになれば、嬉しく思っています。

入学式式辞で、1年生の子どもたちに、「学びとは自分探しの旅」という話をいたしました。私たち教職員も子どもたちと同じく「自分探しの旅」をしている旅人の一人です。この旅に、正解は見つからないことも多いです。いろんな悩みや困り感を、一緒に考えていけたらと思います。